

第5章 パソコンによる減価償却学習プログラムの 学習画面の構成と学習の進め方

1. 学習画面の構成

「パソコンによる減価償却プログラム」の学習者が操作する学習画面構成は、つぎのとおりです。

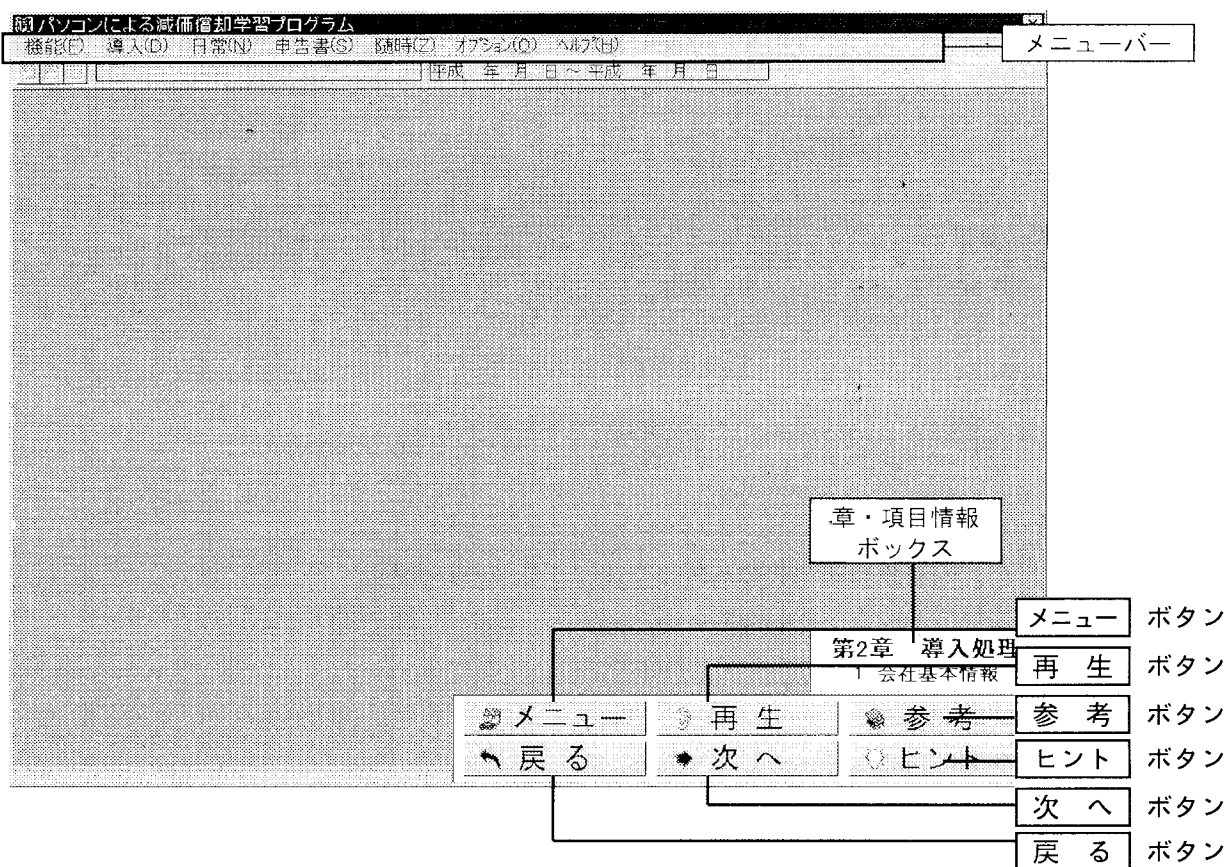


図5-1 学習画面の構成

2. 各ボタンの機能

各ボタンの機能は、次のとおりです。

(1) メニューバー

学習する処理内容をこのメニューバーから選択します。

学習内容以外のメニューは選択できません。

(2) 章項目情報ボックス

現在学習している章と項目名が表示されます。

(3) ボタン

クリックすると章選択画面に戻ります。

(4) ボタン

音声を再度聞くときにクリックします。

(5) ボタン

各項目に参考内容（補助説明）がある時にクリックします。

(6) ボタン

メニューバーの選択内容がわからないときにクリックします。

選択内容が画面上に表示されます。

(7) ボタン

次の学習へ進むときにクリックします。

学習項目が終了した時点でクリックすることができます。

(8) ボタン

前頁の学習に戻るときにクリックします。

3. 学習の進め方

(1) 学習を始める前に

学習を始める前に、動作環境に合わせたパソコン（予備機1台）やフォーマット済みフロッピーディスク等、教材の準備はもちろんのこと、「パソコンによる減価償却学習プログラム」のセットアップを行ってください。学習者は、デスクトップ上の起動用アイコンをクリックして学習をはじめます。

この教材の学習対象者は、減価償却などについての知識やパソコンの操作ができることを前提に作成しています。しかしこのような学習方法で学習した経験者は少ないと考え、電源の位置、パソコンの動作、ヘッドホンに電池を使用している場合には電池を新しいものに交換するなど使用前に十分な点検と動作確認を行ってください。

(2) 学習の展開

学習を開始する際は、使用するパソコンの機種により、フロッピーディスクのドライブが異なりますので、それぞれ学習者に指示をしてください。

この学習方法は、テキストおよびCD-ROMとパソコンによるマルチメディア技術を活かしたシステムにより、音声による解説を聴きながら実際に操作し、入力しながらインタラクティブに学習を進めます。学習中、質問や学習進行上でのトラブルなどが発生しましたら、丁寧に学習者の言い分や気持ちなどいきさつ全部をつかみ処理をとってください。学習者のやり方などへ責任を轉移しないように注意してください。

学習者の自発的な活動を促して、学習者自らが問題やトラブルを解決するようにしむけることも大切です。

(3) 学習のまとめ

それぞれの学習者が学習を終了したら、よく習得できたかどうか確かめてください。確かめた結果によって学習内容を補足してください。